

## 岩手大学留学ポートフォリオ (2022年 8月分)

岩手大学所属学部/研究科、学科/課程	教育学部学校教育教員養成課程
氏名	三浦遥
派遣先大学(国名)	アメリカ合衆国

### 1. 学修・研究面の活動内容

渡航後 2 日で、大学内で留学生向けのオリエンテーションが行われた。このオリエンテーションでは、世界各国から 40 名程度の留学生が集まり、2 日かけてアメリカでの生活の留意点や大学の施設や仕組みに関する説明を受けた。留学生は日本人が最も多く、次いでスペイン、ネパールである。渡航後 1 週間で授業が始まり、日本の大学との講義形式の違いを感じている。アメリカでは、学生同士のディスカッションがメインで、自分から発言する積極性が必要とされる。成績の評価においても、授業への積極的な参加が評価される。そのため、他の留学生や現地のアメリカ人のコミュニケーションのスピードについていく必要がある。日本人は他の国に比べて自己主張が弱いいため、彼らの勢いに圧倒されることも少なくない。しかし、自分の英語力の向上のためには非常に良い環境であるため、積極的な姿勢をもってこれからも取り組んでいきたい。



写真1 オリエンテーション 集合写真



写真2 新入生・留学生歓迎式

### 2. 課外活動や日常生活での所感

大学や寮には想像以上に日本人が多く、日本語で会話できる場面が多くある。また、留学生も国ごとに固まる傾向があり、他の留学生と話す機会は日本人に比べると少ない。日本人が多くいることのメリットは困った時お互いに助け合えることであるが、英語を使う環境に身を置くためには自分から他の留学生や現地の人に話しかける積極性が重要だと実感している。また、私はルームメイトが元々いないため、現在は寮の 2 人部屋に 1 人で住んでいる。部屋にいるときは誰とも会話することがないため、独り言を英語にしてみたり、外出する機会を増やしたりして、実りのある留学にしたいと常々考えている。寮での生活に関しては、現在は特に不自由なく暮らしている。しかし、大きなスーパーやホームセンターは車がないといけな距離にあるため、少し不便を感じる。寮で使用する生活必需品はオリエ

ンテーションの日に大学側がバスを手配してくれたり、仲良くなった現地の友達が連れて行ってくれたりするため、問題はない。気候が日本とは異なり、8月でも朝晩は冷え込むことが多いため、体調管理が大切である。



写真3 現地の警察官と



写真4 仲良くなった友達と

### 3. その他報告事項

2023年11月にボストンで行われるキャリアフォーラムに参加しようと考えています。自分の帰国時期と教員採用試験、卒業時期を考えた結果、このチャンスに一般就職に挑戦したいと思い応募しました。